

# 生産性向上で 新たな成長領域の開拓へ

—世界情勢が不安定化しています。主力の工業炉の受注状況は。

「半導体関連での案件は消えていないが様子見のところが多く、なかなか進まないのが実情。顧客も投資のタイ



富士電波工業  
横島 俊夫社長

ミングが難しいようで、引き合いの数も減っている。ただ注残はまだ1年分の売上高程度あり、忙しいことは忙しい。顧客の中にはBCPの観点から拠点を分散し始めるなど、新しい動きもある」

—25年8月期から生産性向上運動をスタートしました。

「生産性を引き上げて余力を生み出すのが狙いだ。

その余力で次のもの、もっと付加価値の高いものを生み出さなくてはならない。新しいテーマを探し出すための市



2025年7月、ベトナムのハノイ工科大学と連携協定

場調査も始めた。設計部門を中心に将来に向けた技術の蓄積を進めており、全固体電池や核融合などの領域も、もっと掘り起こしていきたい。また生産性向上で一定の成果が出たことで、社員に対しては26年8月期に年間休日を2日増やしている」

—昨夏にはベトナムのハノイ工科大学と連携協定を結びました。

「2月末から2カ月間、機械工学部の学生2人がインターンで滞在する。高温炉で実際に加熱してシミュレーション値を分析するなど研究に役立ててもらう。ベトナムの優秀な学生の採用につなげていきたい」

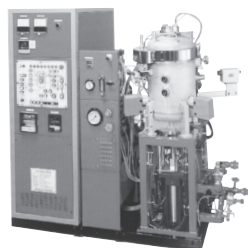
—26年の課題は。

「27年8月期に向けて受注を獲得するため、様子見の顧客が動き出したら、すぐ動けるよう準備しておく。同時に新しい需要の開拓も進めていく」

## 富士電波工業の超高温加熱技術は サステイナブルな地球の未来へ向けて 『ものづくりの環』をつなぎます

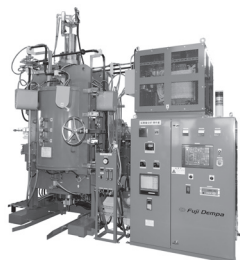
Fuji Dempa

新素材を生み出し、製造コストを削減し、省エネルギーを実現し、安全な生産プロセスを構築する。そんな幾多の先端的な技術課題に挑むお客様からのご相談を、加熱技術で確実にカタチにするために、誠実で、愚直に、とことんまであきらめず、知恵を絞り、そして汗をかく。お客様と二人三脚で疾走する技術・技能者集団として、信用と実績を積み重ねて77年。これからも、技術に磨きをかけ、より高度な加熱ニーズにお応えします。



多目的高温炉「ハイマルチ」

ファインセラミックス等の素材開発に不可欠な標準機として国内外の研究機関・企業に250台以上の実績。この1台で真空・常圧・加圧でのホットプレスと焼結が全て可能。



拡散接合用ホットプレス炉

金属からセラミックスまで幅広く対応し、広範囲で精密な荷重制御が可能。2022年12月、滋賀工場に受託実験設備が完成。



大阪の元祖「ものづくり」企業  
2018年度  
審査委員特別賞受賞!



2025  
健康経営優良法人  
中小規模法人部門  
プライト500

4年連続「プライト500」認定!



富士電波工業株式会社

本社：大阪市淀川区新高2-4-36  
東京営業所 名古屋営業所 滋賀工場

<https://www.fujidempa.co.jp>

